

## 船舶インシデント調査報告書

令和3年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和2年9月5日 21時00分ごろ
発生場所	愛知県東海市東海元浜ふ頭西方沖 名古屋港高潮防波堤中央堤西灯台から真方位065°3.3海里付近 (概位 北緯35°01.9 東経136°51.7 )
インシデントの概要	プレジャーボートTORIIは、漂流中、船外機が停止し、再始動できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和2年9月25日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート TORII、0.9トン 240-66117愛知、個人所有 ガソリン機関、船外機、4サイクル、出力51.50kW、回転数 毎分6,300、4気筒、ボア65mm、使用燃料ガソリン、平成27年製造
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、友人2人を乗せ、釣りの目的で東海市所在の横須賀船溜まりを出航し、東海元浜ふ頭西方沖で船外機を中立運転として漂流中、船外機が停止した。</p> <p>船長は、船外機を再始動しようとしたがセルモータが回らず、始動できなかったため、バッテリーが上がったと思い、予備のバッテリーを使用して帰航を開始したものの、再び船外機が停止した。</p> <p>船長は、船外機を点検したものの停止した原因が判明せず、航行不能と判断して118番通報を行い、本船は、来援した巡視艇にえい航され、栈橋に着岸した。</p> <p>本船は、本インシデント後、修理業者の点検により、船外機内の電源供給用電線が断線して船外機が停止したことが判明した。</p> <p>本船は、平成27年に船長が購入して以来、頻繁に出航していたが、今まで不具合が発生したことがなかったため、電気系統の点検、整備を実施したことがなかった。</p>
分析	本船は、5年間電気系統の点検、整備が実施されていない中、船外機を中立運転として漂流中、船外機内の電源供給用電線が振動等で繰

	り返し応力を受けて疲労破壊により断線したことから、船外機が停止し、運航不能となったものと考えられる。
<b>原因</b>	本インシデントは、本船が、5年間電気系統の点検、整備が実施されていない中、船外機を中立運転として漂泊中、船外機内の電源供給用電線が振動等で繰り返し応力を受けて疲労破壊により断線したため、船外機が停止したことにより発生したものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・船舶所有者は、電気系統の点検、整備を実施し、電装品を定期的に交換することが望ましい。</li></ul>